

# 花ノ木

第 112 号

令和 4 年 1 月 23 日

花ノ木医療  
福祉センター

電話 0771-23-0701

FAX 0771-22-8348

H.P <https://kyoto-hananoki.jp/>

## 人口減少時代を 挑戦する中長期計画

社会福祉法人花ノ木

理事長 山内 一



令和も早くも4年目を迎えました。新型コロナウイルス対応に追われ、空白の2年があったように振り返るところです。職員の皆さんの協力のおかげで無事新年を迎えることができましたこと、改めて感謝申し上げます。

さて、花ノ木として中長期計画を昨年建てさせていただきました。いよいよ今年から本格的着手に臨みます。

コロナによって停滞してしました先進地視察も年末からスタートし、興味ある情報を手でできています。まだまだアップデートしていかねばなりません。何よりも我々職員のアップデートが必要となっております。

2025年問題が目の前に迫ってきていますが、この年だけの問題ではないことに気づいていただくアップデートなのです。

この年が着目されるのは、団塊の世代が後期高齢者に到達する、即ち後期高齢者人口が飛躍的に伸びる節目だからであります。5年程度は急速にその数を増やし、その後当面漸増していきます。同時に近年出生率の急減で児童の数が急速に細っています。

この二つが合わさって、人口減少、ひいては将来の労働力人口の急低下を引き起こしていくこととなります。

向う30年は進行していくとの予測が現実視されています。これが引き金となって、社会構造や経済構造にとついてもないインパクトを加えてくることに對し、今の時代に社会を支える立場にある世代は、はつきりと身構えておかねばならないという意識改革が必要なのです。

社会構造の観点からは、高齢化の進行による人との出会いの不足、学校の少人数化、デジタルによる授業や通信に頼る環境などにより対人関係の希薄化の伸長があげられます。

今多様性を認める流れはこの希薄化への対応だと考えられます。

また、経済構造の観点からは労働力の大幅な不足は業種間での競争の激化を起しています。今サプライチェーンの安定や経済安全保障が急にクローズアップされてきたことは国内での製造業重視の現れであり、労働力の奪い合いを加速する要因になります。

新型コロナウイルス問題でもありました。近年介護や看護人材の確保が非常に困難になってきた要因の一つでもあります。

さらに、GDPに占める消費が人口減少や高齢化、企業の海外進出によって縮小していくことから社会福祉を支える財政の悪化が向う30年継続していくこととなります。

す。

医療もそうですが、社会福祉は社会の重要なシステムであり欠くことのできない構造要素なので。社会が続く限りこのシステムが働いていかねばならない基幹なのだ。社会が再認識することが今正に必要となつていっているのです。

基幹システムの一翼を担う花ノ木が果たしていくべきは再度このことを社会に問うための働きをしなければならぬのです。

「からフル」と銘打った中長期計画は、こうした視点を基礎として構築したものです。

社会が必要と認めてくれる施設となることを目指していくと同時に、入所や通所において障がい児者から選ばれる施設になること、また、花ノ木で働きたいと選択してくれる職場環境を構築していくことが必要なのです。

今年から本格的にスタートする中長期計画の達成は、社会からの理解を前提に職員のやる気があつて初めて達成できる目標なので。過去のようには選択して障がい児者を路頭に迷わせることなく、安心して個の実現ができる施設としていかねばなりません。

皆さんの力をもって新しい時代の花ノ木を創っていく気概を新年の抱負としていただくことを願ってやみません。

# クリスマス会特集

## 第一病棟

第1病棟では11月から病棟内やエントランスのクリスマスツリーの飾りつけを行い、クリスマス会を楽しみにしてきました。

当日はS店製のクリスマス・ホールケーキ、ゼリー食の方は給食特製ケーキを食べ、注入食の方はジュースの注入を行いました。クリスマスソングとともに各居室を回り、給食の職員さんにケーキをカットしていただきました。クリスマスケーキに目を輝かせる人、準備をする前から口を開けて待っている人などいつもとは違うケーキに楽しそうな表情がみられました。

午後からはサンタクロースやトナカイの格好をした職員による寸劇を居室やランチルームを利用して行いました。サンタ学校の生徒達がトナカイ先生による授業を受けるというものでしたが、サンタクロースの衣装が少し変だった



めか泣いてしまう人、キョトンとしている人、笑ってダメだしをする人など様々な表情がみられました。最後に「サンタが街にやってくる」の歌をうたって賑やかに終了となりました。

楽しい雰囲気でした。クリスマス会を行うことができたが、来年はみんなで集まってもっと賑やかなクリスマス会ができることを願っています。

(第1病棟 生活支援員 須賀静恵)

## 第二病棟

第2病棟ではクリスマス期間に3つのイベントを用意しました。

1つ目は【手作りクリスマスツリー】利用者の方には日々の活動でスタンブ画に取り組んでもらいました。それらを飾りに仕立て、ライトやモールと一緒にツリーを彩りました。ツリーのある部屋はさながらプチ・クリスマススノーブレンの場となり、ほっこりとした時間を過ごしました。

2つ目は【お取り寄せ】でクリスマスデザートを「北海道からチーズケーキを、東京からフルーツゼリーを取り寄せました。いつもと違うデザートに顔もほころぶ利用者の方々。職員からも「おいしそう」「食べてみたいわあ」「余らへんかなあ」と本音がポロポロこぼれていました。

3つ目は【プレゼントは自ら得る】クリスマス会当日、多目的室にてプレゼント袋を引き落とすゲームを開催しました。



紐を引くだけのシンプルな仕掛けですが、用意した袋は一抱えもある大きいもの。一筋縄ではいかすまいと企んでいましたが、見事にみなさんプレゼントを持ち帰られました。自らの手で得たプレゼントを受け取った時の笑顔はとて素敵でした。

制限の多いこの時勢に、利用者のみなさんが楽しかったなあと思える1日になったのなら幸いです。

(第2病棟 生活支援員 渡部崇充)

## 第三病棟

12月19日(日)第3病棟のクリスマス会を行いました。

今年のクリスマス会は、各エリア1名ずつ入所者さんにサンタ役となり、クリスマスプレゼントを各エリア・居室に順に配るとい

流れで行いました。

病棟全体にクリスマスミュージックを鳴らしスタート♪サンタ衣装をまとった入所者さんから「プレゼントが届きましたよ」の挨拶があり、ワクワクしながら入所者さんが待つ各居室を回ってもらいました。入所者さんがサンタさんから直接プレゼントを受け取り、注目の中いざ開封！プレゼントは大きなクッションや人形、デイズニーのDVD等、様々なものがありました。中には大きな人形をじっくりと見つめたり、待ちきれずこちらが開ける前にプレゼントの箱を開けようと必死な方もおられました。配布後に写真撮影も行い、そこでも沢山の笑顔が見られました！

最後にウクレレ演奏でクリスマスソングを歌いました。密にならないように注意しながら、皆でクリスマス会の雰囲気を楽しみ、終了しました。配られたプレゼントは個別や活動等で使っていくと思いたいと思います。



来年も素敵なプレゼントが届くと良いですね！

(第3病棟 生活支援員 藤田守亨)

### 第五病棟

第5病棟では、ビンゴゲームを中心に楽しみました。カードを持って、詰所前や各居室で数名ずつビンゴをしていきます。サンタ(役の職員)が発表する数字を、職員と一緒にペンで印をつけたり、自分でビンゴの数字(の書いたボール)をひいても

ありました。みんなで「リーチ!」「ダブルリーチ!」「ビンゴ!」など声を出したり、盛り上げたりする事で楽しい雰囲気を感じてもらえたようです。リーチで職員と一緒に数字をひくと見事ビンゴで「持つてるなあ!」と皆で拍手喝采でした。サンタ役を

楽しみにしている入所者さんは、ビンゴのくじを引く係りを元気いっぱい



子どもたちは赤鼻のトナカイを歌い、鈴のついたリボンを職員と引っ張ると中からプレゼントが!みんな

がリボンでつながっている様子はとても可愛らしく、クリスマス会らしい場面でした。プレゼントは、活動や日々の楽しみにみんな使いたいと思います。

行事をすると、いつも楽しい雰囲気が入所者さんに伝わっていると感じます。クリスマス会でも、楽しむ声やイルミネーションをじっと見たり、良い表情やしぐさがたくさんみられました。

(第5病棟 生活支援員 佐藤祐子)

### はなのき通所

今年度、通所のクリスマス会は12月14日(火)に実施しました。

今回も利用者・職員のみでのクリスマス会となり、また、場所も通所内で飛沫感染などに配慮し活動場所を分けるなどして実施しました。

オープニングは職員による演奏です。トーンチャイムで「きよしこの夜」を演奏し、思わぬハプニングもありましたが、一気にクリスマスモードが盛り上がりました。続いてマリンバで「聖者の行進」「赤鼻のトナカイ」を演奏し、綺麗な音色にうっとりされる方や、手を叩いて楽しんでる方などおられました。その後はクリスマスバージョンの射的大会とDVD鑑賞に分かれて楽しみました。射的大会ではクリスマス絵を点数表(ナンバーイラストライクのボード)

に貼り、クリスマス会の雰囲気を楽しむことで、盛り上がりました。DVD鑑賞では、イルミネーションと合わせ綺麗な映像と音楽に癒されリラックスしたひと時となり、皆さん楽しんで見せておられました。



感染症対策など、限られた中で利用者さんを楽しんでもらえるように委員会を中心に考えてきました。今までと同様の事はできませんが、皆で知恵を出し合い、今後も上手くコロナと付き合いながら活動を模索できたらと思います。

(通所係 生活支援員 青山博章)

### 児童発達支援センター

おひさままでは、季節感を取り入れた活動を各クラスの子どもたちの状況に合わせて取り入れています。クリスマス制作は、手や足に絵の具を付けて紙いっばいに色を付けたリ、絵合わせゲームでゲットした飾りを貼ったりして、素敵なクリスマス飾りやツリーが完成しました。みんなで作って、飾って、楽しい時間を

過ごしました。

どのクラスでも大好評だったのが、今年度導入したクリスマスパネルシアターです!「クリスマス歌が聞こえてくるよ」という楽しい歌に合わせて、55×75cmの白いパネルの上に、動物やクリスマスアイテムが登場します。ウサギやクマ、雪だるまにサンタさん…。それぞれが動いたり、隠れていたのが出てきたりします。職員は、音楽を流しながら何度もパーツの動かし方を練習しました。その結果、普段じっと座っているのが苦手な子も目が釘付け。好きな歌以外が流れるのが嫌いな子も、パネルの上で楽しく動く動物や雪だるまにひかれて楽しむことができました。



ココははなのきでは、学校が冬休みに入り、寒さに負けない元気がいっぱいの子どもたちが楽しく活動しています。4月の開始から1年近く経ち、どの子にも成長が感じられます。来年度の新しいスタートに向けて、スタッフも気持ちを新たにサポートしていきます。(こども療育係 心理判定員 高橋良子)

# 掲示板

## はなのき料理講座

### 「嚥下困難な人への 食事提供」

令和3年11月24日（水）多目的室にて、はなのき料理講座「嚥下困難な人への食事提供」を開催しました。昨年はコロナ禍により開催できず、今年は緊急事態宣言下においても動画配信等で情報提供できるように準備を進めていましたが、11月には感染者数も減少傾向となり、参加者を招いて開催することができました。ここ最近では、同職種に対しての内容が中心で、やや高度な技術を要する内容となっていたので、今回は在宅介護向けの内容に変更し、初めて介護食に取り組まれる方でも簡単でわかりやすい食事紹介を行いました。これまでは調理実演だけでしたが、今回は調理実演と参加型の講義の二部構成にしました。調理実演では、電子レンジと市販品で簡単に作ることができる「をテーマに、すり鉢で作るキザミ食」さけの塩焼き「ひじき煮」、ブレンダーで作るペースト食「ミートボール」を紹介しました。実演では、皆さん興味を持って見ていただき、特に食べにくい食材と粘性のある食材をすり鉢で合わせるレシピの紹介は「鮭とかぼちゃの組み合わせに驚いた」「味も良く、食べやすい」と好評でした。参加型の講義は、その場でお茶にとろみをつけ、どんな物性になるか、飲みやすくなったか、など体験していただきました。

これから初めて家族の介護をするという方もおられ

ましたが、皆さん大変興味をもって意欲的に参加していただき、質問や相談しやすい雰囲気で開催することができました。

今後も継続して嚥下食・介護食に携わっている方への講習会、相談会、交流会などを行い、食事面のサポートに努めたいと思います。

（栄養課 管理栄養士 青山佳子）

## 花ノ木の動き

（令和三年十一月一日〜令和三年十二月三十一日）

- 11/4 所内研修「虐待及び身体拘束防止」
- 10 所内研修「感染対策」
- 11 停電時対応訓練
- 17 第4回理事会
- 24 情報発信事業「はなのき料理講習会」
- 29 第2回評議員会
- 12/1 明治国際医療大学看護実習
- 2 医療管理棟・通園棟・児発センター総合防災訓練
- 8 所内研修「健康講座」
- 11 情報発信事業「学習障害とその周辺障害について」
- 14 はなのき通所クリスマス会
- 16 2病棟クリスマス会
- 18 5病棟クリスマス会
- 19 3病棟クリスマス会
- 20 1病棟クリスマス会
- 22 所内研修「防犯」
- 28 仕事納め

## ありがとうございました 寄付・寄贈（敬称略）

◎寄附  
奥野恵子



### 編集後記

▼新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2020東京オリンピックが1年延期開催されるといふ異例の事態となった昨年、私自身、干支周りの5回目を迎え、初孫が誕生したり身内に不幸が続いたり、年末には身体のメンテナンスを余儀なくされたりと、御多分に洩れず様々な出来事で悲喜こもごもでした。▼年男・年女は半死半生語でしょうか？思い返してみると、12年毎の節目には何かしら出来事や人生の岐路があったように思います。「二月の勝者」ではありませんが、何となく試そうとしていた中学受験、結婚、次男の誕生、転職、と記憶力が衰えてきても甦ってくる、忘れられない出来事や決断がありました。▼また、新たな年を迎え12年後に何が起るのか、新しい日常生活を送りながら、楽しく迎えることができればと思います。

（編集委員 俣野一博）